

10:26 受

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19396報)

平成31年3月14日10時25分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第19357報でお知らせしたとおり、3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、当該設備の放熱器の保全計画に基づく交換作業のため、本日10時00分に特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、作業を開始しました。</p> <p>当該作業の終了については、別途お知らせします。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

11:21受

Rev.1 発信時刻

平成31年3月14日 11時15分

訂正 Rev.1

10時00分 =>

9時53分

<誤>

<正>

応急措置の概要 (原子炉施設)

様式0-1 (1/2)

(第19396報)

1/1

平成31年3月14日 10時25分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	平成23年3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19357報でお知らせしたとおり、3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、当該設備の放熱器の保全計画に基づく交換作業のため、本日 10時00分 に特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」第1編第32条第1項 (保全作業を実施する場合) を適用し、作業を開始しました。 当該作業の終了については、別途お知らせします。 【公表区分：E】 ※添付の有・無 (無)
その他の事項の対応 (注3)	なし

→ 9時53分

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

15:43 受

1/10

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19397報)

平成31年3月14日15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [3月14日11時00分現在] ・サブドレン等核種分析結果 [採取日 3月13日] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 3月13日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 3月13日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 3月11日、13日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 3月13日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクA、地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、3月15日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 3月10日] ・福島第一原子力発電所 地下水バイパス 一時貯留タンク分析結果 [採取日 3月8日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/10

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年3月14日 11:00現在

【重要事項】
各計測値については、地震やその他の事故直後の影響を受けて、通常の使用環境条件を
超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測値も存在している。
プラントの状態を把握するために、このような計測値の不安定さも考慮したうえで、事故
の計測値から得られる情報を活用して変化の傾向にも留意して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.4 m/h CS系: 1.3 m/h (3/14 11:00 現在)	給水系: 1.3 m/h CS系: 1.5 m/h (3/14 11:00 現在)	給水系: 1.5 m/h CS系: 1.5 m/h (3/14 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 14.9 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 14.8 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 14.7 °C (3/14 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 19.9 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 19.1 °C (3/14 11:00 現在)	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 18.9 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 17.4 °C (3/14 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 15.0 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 14.7 °C (3/14 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 20.9 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 20.3 °C (3/14 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 18.9 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 17.1 °C (3/14 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.48 kPa g (3/14 11:00 現在)	1.26 kPa g (3/14 11:00 現在)	0.37 kPa g (3/14 11:00 現在)	
窒素吸入流量 ※3	RPV (RVH): 13.83 Nm/h (JP-A): 14.75 Nm/h (JP-B): - Nm/h PCV: - Nm/h (3/14 11:00 現在)	RPV: 10.40 Nm/h PCV: - Nm/h (3/14 11:00 現在)	RPV: 17.17 Nm/h PCV: - Nm/h (3/14 11:00 現在)	※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.3 m/h (3/14 11:00 現在)	14.23 Nm/h (3/14 11:00 現在)	- Nm/h (3/14 11:00 現在)	※5
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: - vol% (3/14 11:00 現在)	A系: 0.11 vol% B系: 0.10 vol% (3/14 11:00 現在)	A系: - vol% B系: - vol% (3/14 11:00 現在)	※5 ※5
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.02E-03 Ba/cm³ 検出限界値 3.80E-04 B系: 指示値 1.20E-03 Ba/cm³ 検出限界値 3.40E-04 (3/14 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm³ (3/14 11:00 現在)	A系: 指示値 - Ba/cm³ 検出限界値 - B系: 指示値 - Ba/cm³ 検出限界値 - (3/14 11:00 現在)	※5 ※5 ※5 ※5
使用済燃料プール 水温度	22.7 °C (3/14 11:00 現在)	23.9 °C (3/14 11:00 現在)	22.3 °C (3/14 11:00 現在)	14.8 °C (3/14 11:00 現在)
FPC 排水タンク 水位	3.46 m (3/14 11:00 現在)	3.82 m (3/14 11:00 現在)	5.04 m (3/14 11:00 現在)	28.9 X100mm (3/14 11:00 現在)

【計測値に関する情報】
※1: 指示値がマイナスの場合は0.0vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
※2: 原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度を記載する。
※3: 原子炉格納容器内温度はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度値 (Ca135) を記載する。
※4: 窒素吸入停止中
※5: 作業に伴い一時的欠測

3/10

サブドレン等核種分析結果

(データ集約: 3/14)

採取場所	福島第一 1号機 サブドレン	福島第一 2号機 サブドレン	福島第一 3号機 サブドレン	福島第一 4号機 サブドレン	福島第一 5号機 サブドレン	福島第一 6号機 サブドレン	福島第一 構内深井戸
試料採取日時刻	2019年3月13日 7時59分	2019年3月13日 7時52分	2019年3月13日 7時47分	2019年3月13日 7時35分	対象外	対象外	対象外
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)						
I-131 (約8日)	ND(5.8)	ND(7.8)	ND(5.2)	ND(4.6)	-	-	-
Cs-134 (約2年)	10	18	ND(3.9)	ND(5.2)	-	-	-
Cs-137 (約30年)	120	270	ND(4.8)	ND(5.6)	-	-	-

※ NDは検出限界値未滿を表し、() 内に検出限界値を示す。

2019年3月14日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 2/24 to 3/13. Rows 1-10 show data for I-131, mostly as ND (Not Detected).

CS-134 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 2/24 to 3/13. Rows 1-10 show data for CS-134, mostly as ND.

CS-137 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 2/24 to 3/13. Rows 1-10 show data for CS-137, including numerical values like 5.2, 5.1, 5.8, 6.1, 5.5, 6.0, 5.3, 5.2.

- 測定箇所
①4号T/B建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤焼酎体廃棄物減容処理建屋南
⑥サイトハンカ建屋南西
⑦焼酎工作建屋 西側
⑧焼酎体廃棄物減容処理建屋北
⑨サイトハンカ建屋南東

*I-131はサンプリング測定を実施していないことを示す。
*⑤は⑥が採取不可となったため、地下水流の上流側として選定し、選1回程度のみ測定(2011/4/29~)
*⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)
*⑧を追加で測定(2011/5/30~)
*⑨を追加で測定(2011/8/2~)
*⑩は検出限界値を示す、() 内に検出限界値を示す。

4/10

5/10

2019年3月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路						物揚場排水路					
	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日
採取日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日
採取時刻	8:00	7:50	8:00	9:13	8:40	7:50	8:05	7:55	8:05	9:18	8:45	7:55
降雨量(mm/日)	0.5	0	0	45	0.5	3	0.5	0	0	45	0.5	3
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	ND(0.72)	ND(0.55)	ND(0.64)	0.87	ND(0.47)	ND(0.73)	ND(0.52)	ND(0.55)	ND(0.64)	2.1	ND(0.76)	ND(0.93)
Cs-137(約30年)	3.8	4.0	4.2	9.6	4.5	3.6	2.6	1.6	ND(0.91)	31	2.3	1.9
全β	7.7	8.6	8.6	19	9.5	8.8	5.8	ND(3.3)	ND(4.0)	64	4.2	4.2
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	分析中	-	-	-	-	-	分析中

単位: Bq/L

	K排水路						BC排水路					
	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日
採取日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日
採取時刻	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
降雨量(mm/日)	0.5	0	0	45	0.5	3	0.5	0	0	45	0.5	3
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	2.7	0.76	ND(1.3)	3.3	2.7	1.2	ND(0.58)	ND(0.55)	ND(0.63)	ND(0.65)	ND(0.58)	ND(0.64)
Cs-137(約30年)	36	10	6.0	40	41	17	ND(0.89)	ND(0.74)	ND(0.87)	2.1	ND(0.56)	0.68
全β	47	19	10	62	61	25	3.9	ND(2.9)	ND(3.6)	6.6	12	5.7
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	分析中	-	-	-	-	-	分析中

* 大枠内が今回公表データ。他は3月13日までに知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

2019年3月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(2)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取日										3月11日					
採取時刻										9:15					
塩素(単位: ppm)										44					
Cs-134(約2年)										-					
Cs-137(約30年)										-					
その他										-					
γ										-					
全β										19					
H-3(約12年)										450					
Sr-90(約29年)										-					

	12号機 ウエルポイント 及び上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(2)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	23号機 改修ウエル 及び上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(2)	34号機 改修ウエル 及び上げ水
採取日															
採取時刻															
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β															
H-3(約12年)															
Sr-90(約29年)															

* 太枠内が今回公表データ。他は3月12日にお知らせ済み。
 * NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

6/10

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻										3月13日					
塩素(単位: ppm)										7.29					
Cs-134(約2年)										42					
Cs-137(約30年)										—					
その他										—					
γ										—					
全β										—					
H-3(約12年)										ND(11)					
Sr-90(約29年)										分析中					

採取日	1,2号機 ウエルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	2,3号機 改修ウエル 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	3,4号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻						3月13日									
塩素(単位: ppm)						7.40									
Cs-134(約2年)						—									
Cs-137(約30年)						ND(0.29)									
その他						ND(0.36)									
γ						—									
全β						110									
H-3(約12年)						分析中									
Sr-90(約29年)						—									

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「—」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

7/10

80/10

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

採取時刻	福島第一5.6号機放水口北側(T-1)	福島第一6号機取水口前	福島第一物橋場前	福島第一1~4号機取水口内北側(原液除染北側)	福島第一1号機取水口(遮水壁前)	福島第一1~4号機取水口内南側(遮水壁前)	福島第一南放水口付近(T-2)	福島第一港湾口	福島第一港湾内東側	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
採取日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日		
採取時刻	8:05	7:45	7:29	7:40	7:34	7:10	7:02	7:06			
Cs-134 (約2年)	ND(0.46)	ND(0.57)	ND(0.62)	0.72	ND(0.66)	ND(0.71)	ND(0.63)	ND(0.34)		60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.59)	0.57	7.2	9.0	7.7	ND(0.71)	ND(0.45)	1.1		90	10
全β	ND(15)	ND(15)	18	26	ND(15)	12	ND(18)	ND(16)			
H-3 (約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-		60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	-	-	-	-	-	-	-	-		30	10

単位: Bq/L

採取時刻	福島第一港湾内西側	福島第一港湾内北側	福島第一港湾内南側	福島第一港湾中央	福島第一北防波堤北側(T-0-1)	福島第一港湾口北側(T-0-1A)	福島第一港湾口東側(T-0-2)	福島第一港湾口南東側(T-0-3A)	福島第一南防波堤南側(T-0-3)	※告示濃度限度	WHO飲料水水質ガイドライン
採取日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日	3月13日		
採取時刻	7:08	7:10	7:04	7:24	6:48	6:50	6:52	6:54	6:56		
Cs-134 (約2年)	ND(0.28)	ND(0.34)	ND(0.26)	ND(0.47)	ND(0.59)	ND(0.74)	ND(0.72)	ND(0.68)	ND(0.85)	60	10
Cs-137 (約30年)	1.3	1.7	1.2	1.2	ND(0.78)	ND(0.73)	ND(0.62)	ND(0.64)	ND(0.62)	90	10
全β	ND(16)	ND(16)	19	ND(18)	ND(16)	ND(16)	20*1	ND(16)	ND(16)		
H-3 (約12年)	-	-	-	-	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	10

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

* 1 過去最高値(「福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果」およびその関連の参考資料で過去に示した値との比較)

9/10

2019年3月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

採取日	一時貯水タンク A (サンプルタンク A)		運用目標	告示濃度※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取時刻	2019年3月10日	2019年3月10日			
貯水量 [m ³]	8:25	8:25			
セシウム134	520	520			
セシウム137	ND(0.54)	ND(0.57)	1	60	10
その他 ガンマ核種	ND(0.78)	ND(0.53)	1	90	10
全ベータ	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
トリチウム	ND(2.4)	ND(0.39)	3(1) ^(注)		
	830	880	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

15:43 受

1/2

様式9-1(1/2)
(第19398報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

平成31年 3月14日 15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽 i 南西側及び北東側の滲れい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。 ・地下貯水槽 分析結果 [採取日 3月13日] 今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。 引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。 【公表区分: D続】 ※添付の有・無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2019年3月14日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽 分析結果(2019年3月13日分)

地下貯水槽(ドレン孔水)														
	i		ii		iii		iv		v		vi		vii	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻	7:35		8:06											
全べータ(Bq/L)	82		ND(22)											

地下貯水槽(漏えい検知孔水)														
	i		ii		iii		iv*		v*		vi		vii*	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻	※	※	7:13	※										
全べータ(Bq/L)	※	※	95,000	※										

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。
*漏えい検知孔iv、v、viiは、採取対象としていない。

※水位不足により採取できず

16:47 受

様式 9-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19399報)

平成31年 3月 14日 16時 35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	平成23年3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第19357報他でお知らせしたとおり、3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子力施設の保安」(以下、「実施計画」という)第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し作業を実施しておりましたが、作業が終了したことから14時35分に当該設備を起動しました。</p> <p>その後、当該設備の動作確認において異常が無いこと、及び短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、16時10分に実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)の適用を解除しました。</p> <p>なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常ありませんでした。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。